

くすりと健康のはなし

薬包紙

第107回

在宅介護委員

一般社団法人岐阜県薬剤師会

小見山依子



コロナの流行に伴い、生活様式が以前とかわり自宅ですごす時間が増えました。TV視聴時間の増加、PCでのリモートワーク、スマホの使用時間の増加により、目を酷使することが多くなったように思います。昔から、白内障や緑内障の治療で点眼を使っている方はいましたが、最近はスマホやPCの使用の増加に伴い、ドライアイや眼精疲労の方も増えました。目薬は病院だけでなく、市販でも簡単に購入することができます薬の一つですが、皆さんはどのように点眼を使って保管されているでしょうか。

目薬とは、目の病気の治療や疲れ・かゆみなどをやわらげるため、直接目に使用する薬です。開封されるまでは無菌状態ですが、開封後は直接目などに触れることにより目ヤニや涙などが目薬の中に吸い込まれて薬自体が汚染されることがあることをあまり知られていません。意外に使用方法や保管方法に注意が必要な薬なのです。

医師から出された目薬1本を全部使いきるまえに目の症状が治つ

目薬の保管どうしていますか？

てしまう方は多く、その後の目薬をどうされているでしょうか。封が開いていても冷蔵庫に保管しておけばいつでも好きな時に使うことができると思っている方が存外多いと思います。

ここで目薬を、口を付けて飲むだペットボトルと置き換えてみてください。そのペットボトルを冷蔵庫に保管しておき、1カ月後に飲む方が何人いるでしょうか？飲まれる方はあまりいないように思います。前述のように開封後は必ずしも目薬が汚染されていないとは限らないです。開封後1カ月以上たった目薬は使用しないように捨てていただきたいと思えます。

ただし、市販の目薬についてはそれぞれのメーカーで推奨している開封後の目安が異なります。1度同封してある説明書を確認してみただけだと良いと思いません。

日常的に何気なく使用している薬でもしらないことがたくさんあります。何か気になることがあれば、ぜひ身近にいる薬剤師に相談してみてください。